

第4章 主要原料・食品の需給と価格変動

概 要

- 1 畜産食料品
- 2 水産食料品
- 3 農産加工品
- 4 製穀粉・同加工品
- 5 食用油脂・同加工品
- 6 調味料
- 7 大豆・同加工品
- 8 飲料
- 9 冷凍調理食品

概 要

平成 26 年の食料品・飼料の輸入物価は、対前年比で 5.8 %とやや上昇した。平成 24 年後半から米ドル高円安に転換し、主要穀物の高騰が食料品の輸入物価を押し上げている。

平成 26 年の食料品・飲料・たばこ・飼料の企業物価は、対前年比 2.6 %とわずかに上昇した。

平成 26 年の食料品（生鮮を除く）の消費者物価指数は、対前年比で 3.3 %とやや上昇した。平成 26 年 4 月に消費税率をそれまでの 5 %から 8 %に引き上げたことから、企業物価及び消費物価は上昇基調となっており、平成 26 年以降は高い相関がみられる（ $r = 0.992$ ）。

図4-1 加工食品の輸入物価、企業物価、消費者物価の推移

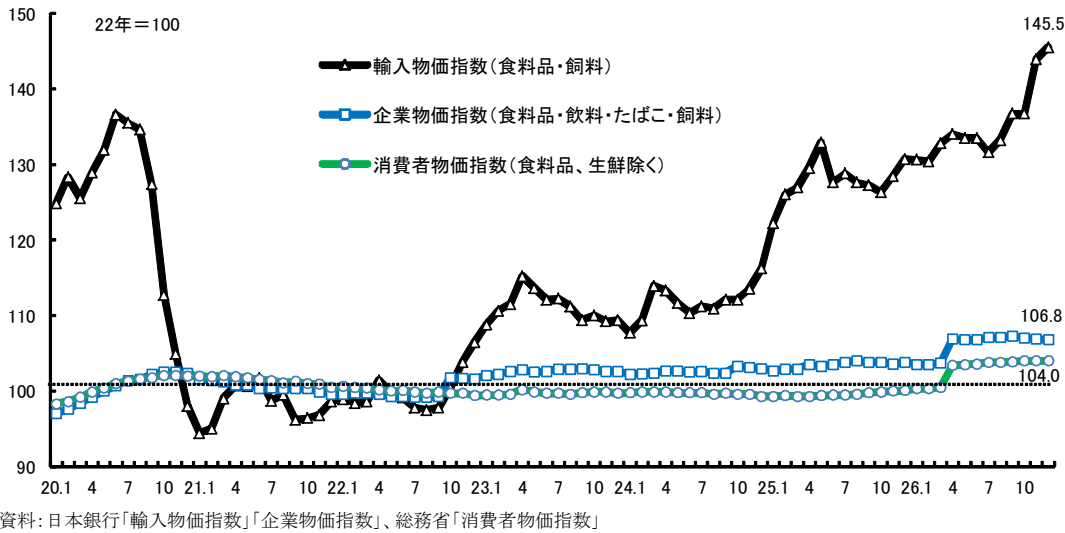


表4-1 加工食品の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 食料品・飼料	企業物価 食料品・飲料・たばこ・飼料	消費者物価 食料品(生鮮除く)
指数 22年=100			
20年	124.1	100.5	100.7
21年	98.1	100.6	101.5
22年	100.0	100.0	100.0
23年	111.1	102.6	99.8
24年	111.8	102.6	99.7
25年	127.8	103.5	99.6
26年	135.2	106.1	102.9
前年増減率 %			
21年	▲ 20.9	0.1	0.8
22年	1.9	▲ 0.6	▲ 1.5
23年	11.1	2.6	▲ 0.2
24年	0.7	0.0	▲ 0.1
25年	14.3	0.8	▲ 0.1
26年	5.8	2.6	3.3

資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

1 畜産食料品

牛肉の平成26年の輸入量は、対前年比▲2.9%（25年は4.0%）とわずかに減少、輸入単価（CIF価格、以下、同じ）は同18.3%と大幅に上昇。輸入単価は24年末から緩やかに上昇する中で、26年夏以降にさらに大きく上昇。

豚肉の平成26年の輸入量は、対前年比12.3%（25年は▲5.2%）とかなり大きく増加、輸入単価は同4.3%とやや上昇。輸入単価は上昇基調。

図4-2 牛肉の輸入量と輸入単価の推移

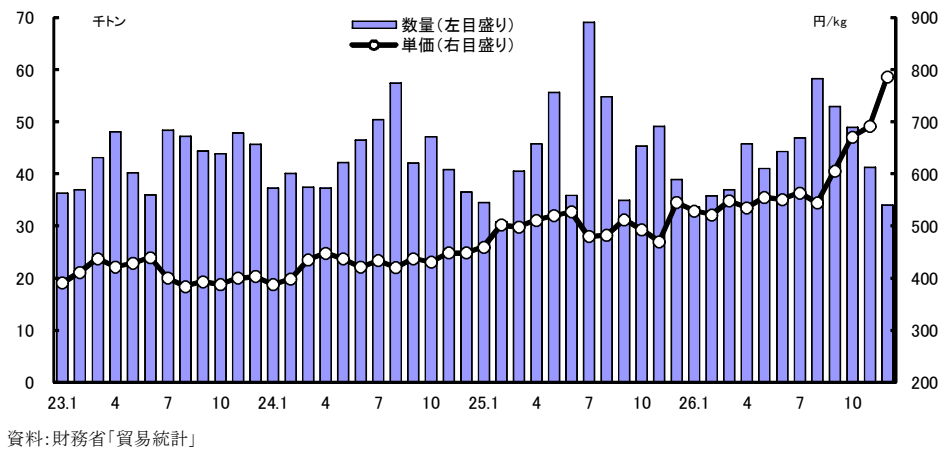
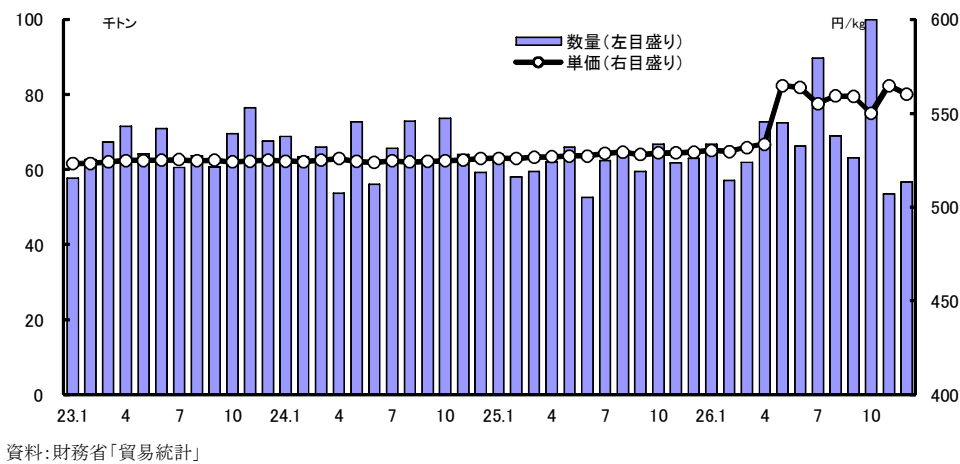


図4-3 豚肉の輸入量と輸入単価の推移

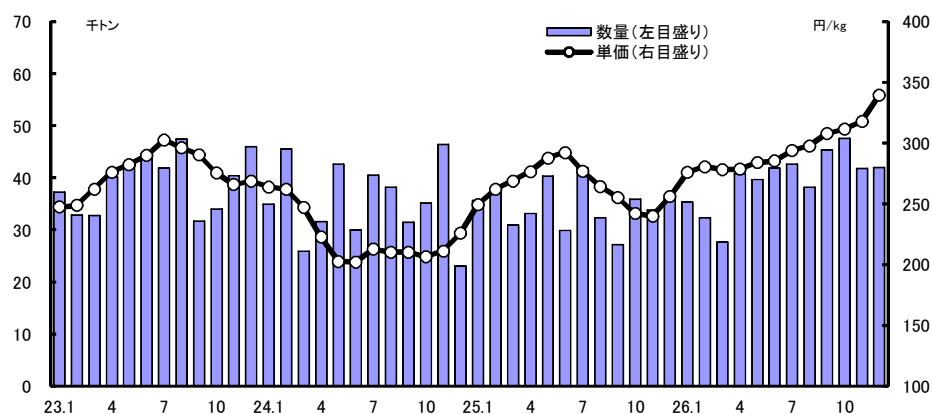


鶏肉の平成26年の輸入量は、対前年比14.7%（25年は▲2.6%）とかなり大きく増加、輸入単価は同12.4%とかなり大きく上昇。輸入単価は平成24年末以降上昇。

ソーセージの平成26年の輸入量は、対前年比▲4.4%（25年は▲6.8%）とやや減少、輸入単価は同6.3%とかなりの程度上昇。輸入単価は平成22年末から上昇基調。

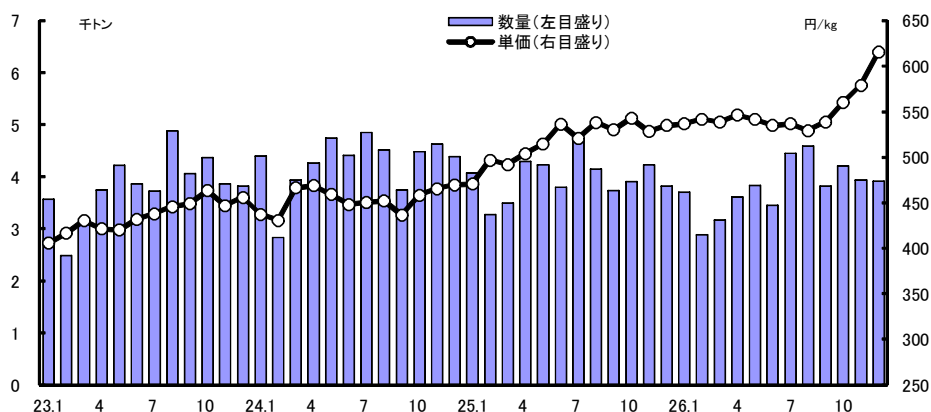
ナチュラルチーズの平成26年の輸入量は、対前年比▲1.7%（25年は0.8%）とわずかに減少、輸入単価は同18.2%と大幅に上昇。輸入単価は平成24年末から上昇基調。

図4-4 **鶏肉** の輸入量と輸入単価の推移



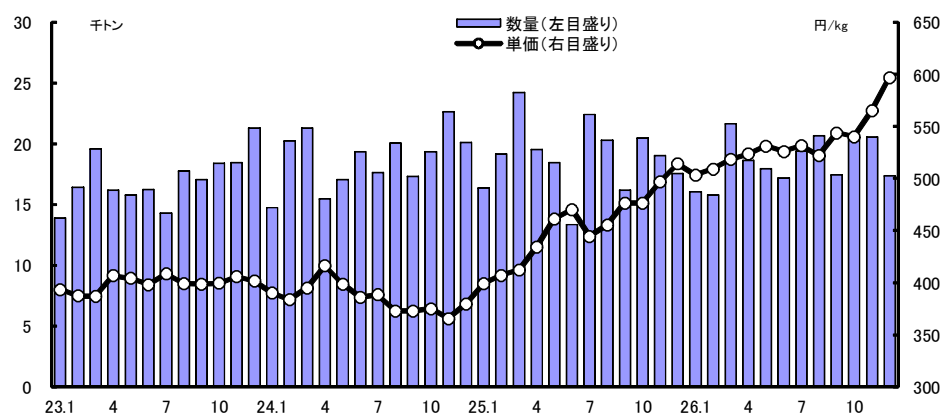
資料:財務省「貿易統計」

図4-5 **ソーセージ** の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-6 **ナチュラルチーズ** の輸入量と輸入単価の推移

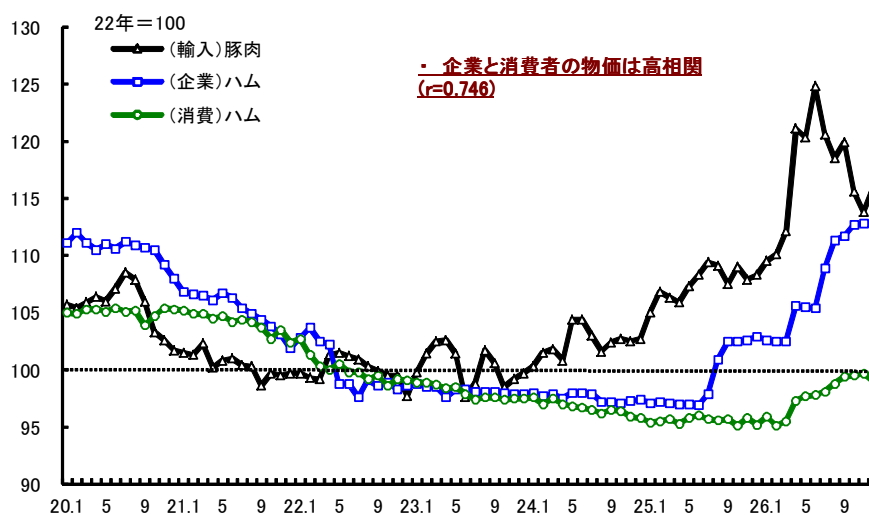


資料:財務省「貿易統計」

ハムの原料である豚肉の平成26年における輸入物価は対前年比8.6%とかなりの程度上昇し、ハムの企業物価が同8.6%（25年は1.7%）とかなりの程度上昇、消費者物価は同2.3%とわずかに上昇。月別推移についてみると、輸入物価は23年末以降に上昇、企業物価は25年夏以降に上昇、消費者物価は26年春以降に上昇傾向となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成19年以降、連動しており、相関が高い。

図4-7 **ハム** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-2 **ハム** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

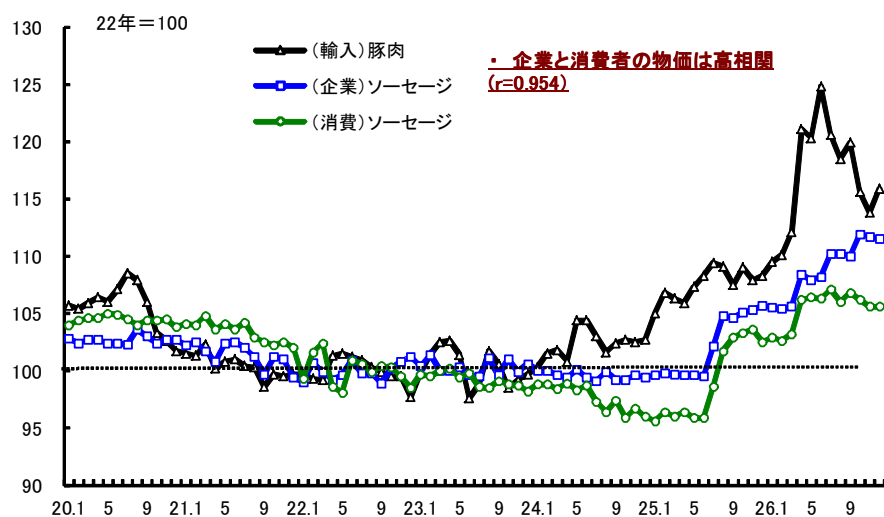
	輸入物価 豚肉	企業物価 ハム	消費者物価 ハム
指数 22年=100			
20年	105.5	110.6	105.0
21年	100.4	105.2	104.2
22年	100.0	100.0	100.0
23年	100.3	98.2	98.0
24年	102.3	97.6	96.7
25年	107.6	99.3	95.6
26年	116.9	107.9	97.8
前年増減率 %			
21年	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 0.8
22年	▲ 0.4	▲ 5.0	▲ 4.0
23年	0.3	▲ 1.8	▲ 2.0
24年	2.0	▲ 0.6	▲ 1.3
25年	5.1	1.7	▲ 1.1
26年	8.6	8.6	2.3

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ソーセージの原料である豚肉の平成26年における輸入物価は対前年比8.6%とかなりの程度上昇し、ソーセージの企業物価は同6.6%とかなりの程度上昇、消費者物価は同6.4%とかなりの程度上昇。月別推移についてみると、輸入物価、企業物価、消費者物価はそれぞれ上昇傾向となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成19年以降、連動しており、相関が高い。

図4-8 ソーセージの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-3 ソーセージの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

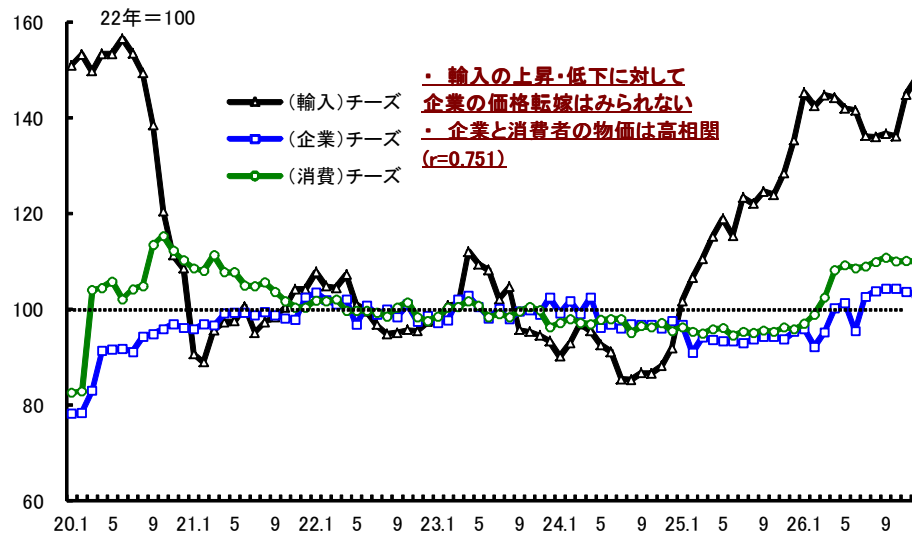
	輸入物価 豚肉	企業物価 ソーセージ	消費者物価 ソーセージ
指数 22年=100			
20年	105.5	102.7	104.4
21年	100.4	101.4	103.4
22年	100.0	100.0	100.0
23年	100.3	100.3	99.2
24年	102.3	99.6	97.6
25年	107.6	102.1	99.1
26年	116.9	108.9	105.4
前年増減率 %			
21年	▲ 4.8	▲ 1.3	▲ 1.0
22年	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 3.3
23年	0.3	0.3	▲ 0.8
24年	2.0	▲ 0.7	▲ 1.6
25年	5.1	2.6	1.5
26年	8.6	6.6	6.4

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

チーズの平成26年の輸入物価は対前年比19.1%（25年は31.6%）と大幅に上昇し、企業物価は同6.7%とかなりの程度上昇、消費者物価は同12.0%（25年は▲1.5%）とかなり大きく上昇。月別推移についてみると、輸入物価は平成24年半ばから25年末まで大きく上昇したものの、同時期に企業物価と消費者物価はゆるやかに低下傾向となり、26年から遅れて上昇基調となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成19年以降、連動しており、相関が高い。

図4-9 チーズの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

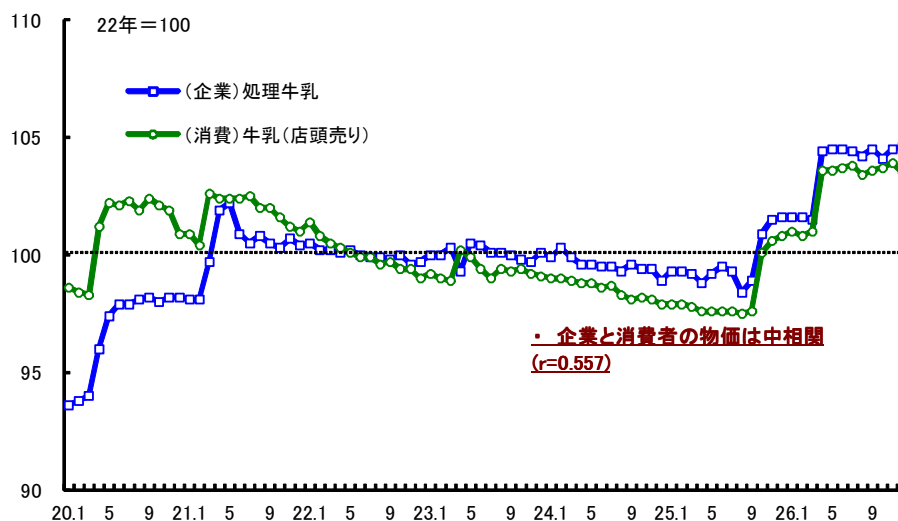
表4-4 チーズの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 チーズ	企業物価 チーズ	消費者物価 チーズ
指数 22年=100			
20年	141.5	90.3	103.5
21年	97.5	98.5	105.4
22年	100.0	100.0	100.0
23年	101.2	99.7	99.5
24年	90.2	97.9	97.0
25年	118.8	93.9	95.5
26年	141.5	100.2	107.0
前年増減率 %			
21年	▲ 31.1	9.1	1.8
22年	2.5	1.5	▲ 5.1
23年	1.2	▲ 0.3	▲ 0.5
24年	▲ 10.9	▲ 1.8	▲ 2.5
25年	31.6	▲ 4.2	▲ 1.5
26年	19.1	6.7	12.0

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

牛乳の平成26年度の企業物価は対前年比4.1%（25年は0.1%）とやや上昇、消費者物価も4.6%（25年は▲0.1%）とやや上昇。月別推移についてみると、企業物価、消費者物価ともに25年後半から上昇基調となっている。

図4-10 牛乳の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-5 牛乳の企業物価・消費者物価の推移

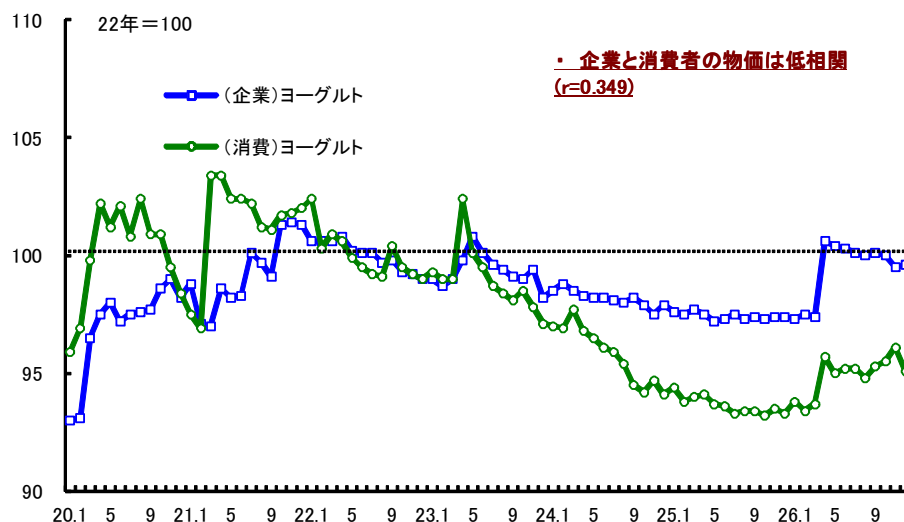
	企業物価 処理牛乳	消費者物価 牛乳
指数 22年=100		
20年	96.8	97.7
21年	100.3	101.0
22年	100.0	100.0
23年	100.0	99.4
24年	99.6	98.6
25年	99.7	98.5
26年	103.7	103.0
前年増減率 %		
21年	3.7	3.4
22年	▲ 0.3	▲ 1.0
23年	0.0	▲ 0.6
24年	▲ 0.4	▲ 0.8
25年	0.1	▲ 0.1
26年	4.1	4.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ヨーグルトの平成26年の企業物価は対前年比2.0%とわずかに上昇、消費者物価も1.4%とわずかに上昇。月別推移についてみると、企業物価と消費者物価とも低下基調で推移していたが、26年4月に消費税増税等により上昇し、低下基調に歯止めがかかった。

なお、企業物価と消費者物価は平成19年以降、相関が低い。

図4-11 **ヨーグルト** の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-6 **ヨーグルト** の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 ヨーグルト	消費者物価 ヨーグルト
指数 22年=100		
20年	97.0	100.1
21年	99.2	101.3
22年	100.0	100.0
23年	99.3	99.0
24年	98.2	95.8
25年	97.4	93.6
26年	99.4	94.9
前年増減率 %		
21年	2.3	1.2
22年	0.8	▲ 1.3
23年	▲ 0.7	▲ 1.0
24年	▲ 1.2	▲ 3.2
25年	▲ 0.8	▲ 2.3
26年	2.0	1.4

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

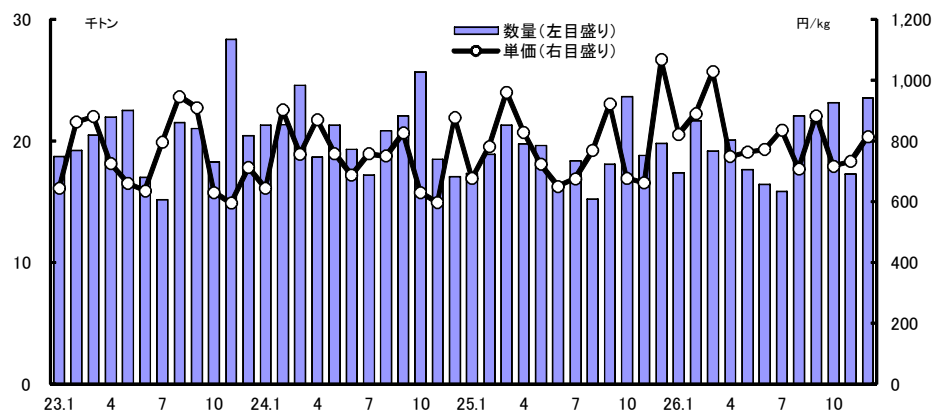
（２）水産食料品

かつお・まぐろ類（生・蔵・凍）の平成26年の輸入量は、対前年比3.9%（25年は▲8.3%）とやや増加、輸入単価は同3.0%（25年は4.5%）とやや上昇。

たら（生・蔵・凍・すり身）の平成26年の輸入量は、対前年比17.5%（25年は7.1%）と大幅に増加、輸入単価は同13.4%（25年は▲5.7%）とかなり大きく上昇。

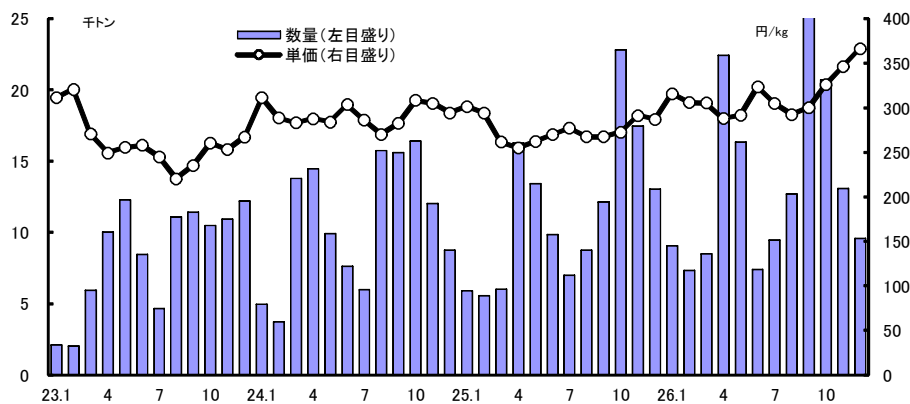
さば・さんま・あじ・いわしの平成26年の輸入量は、対前年比10.8%（25年は▲7.2%）とかなりの程度増加、輸入単価は同4.7%（25年は13.8%）とやや上昇。

図4-12 **かつお・まぐろ類**（生・蔵・凍）の輸入量と輸入単価の推移



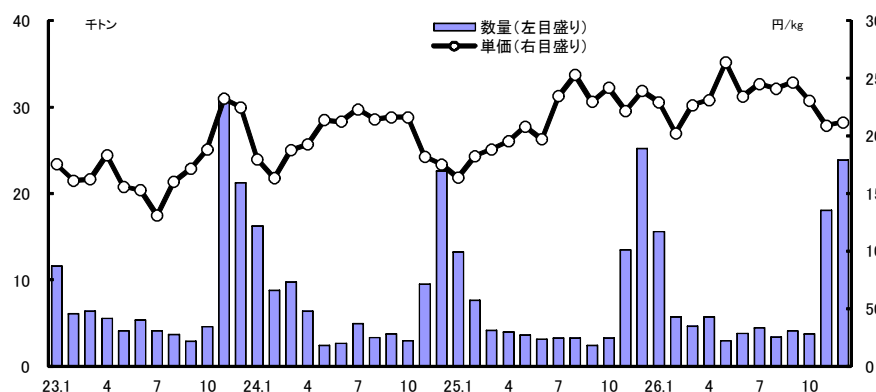
資料:財務省「貿易統計」

図4-13 **たら**（生・蔵・凍・すり身）の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-14 **さば・さんま・あじ・いわし**の輸入量と輸入単価の推移

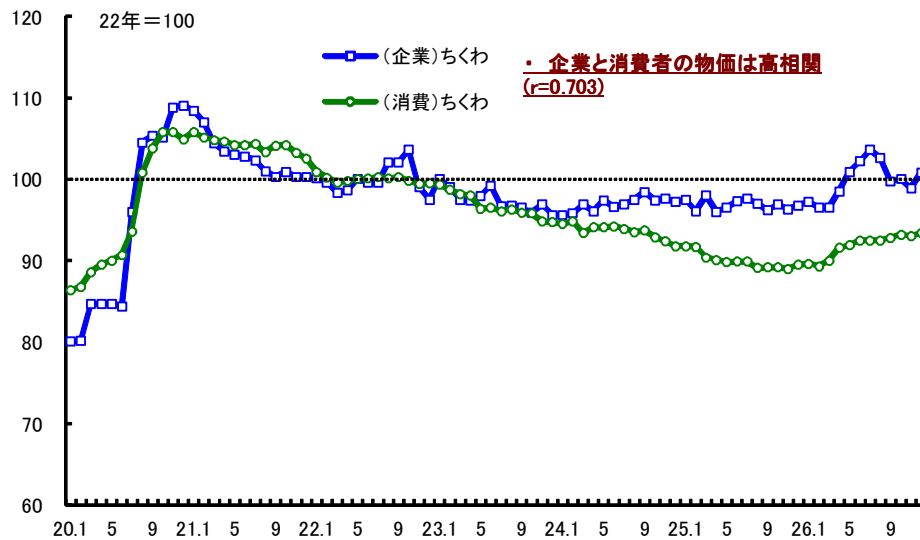


資料:財務省「貿易統計」

ちくわの平成26年の企業物価は対前年比3.0%（25年は▲0.1%）とやや上昇、一方、消費者物価は2.1%（25年は▲3.8%）とわずかに上昇。月別推移についてみると、平成24年の春以降は企業物価に対して消費者物価の低下幅が大きくなっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成19年以降、連動しており、相関が高い。

図4-15 **ちくわ**の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-7 **ちくわ**の企業物価・消費者物価の推移

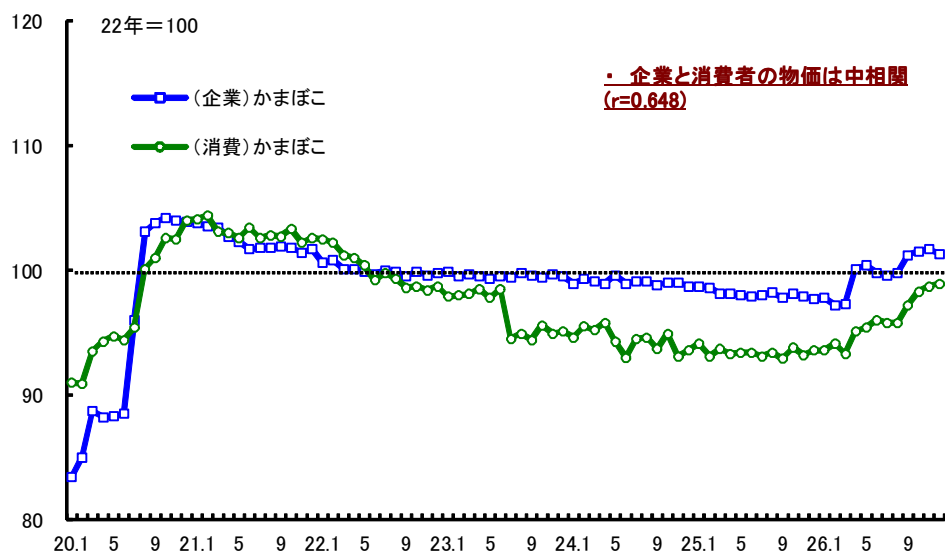
	企業物価 ちくわ	消費者物価 ちくわ
指数 22年=100		
20年	94.0	95.6
21年	102.8	104.2
22年	100.0	100.0
23年	97.5	96.7
24年	97.0	93.6
25年	96.9	90.0
26年	99.8	91.9
前年増減率 %		
21年	9.5	9.0
22年	▲ 2.8	▲ 4.0
23年	▲ 2.6	▲ 3.3
24年	▲ 0.5	▲ 3.2
25年	▲ 0.1	▲ 3.8
26年	3.0	2.1

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

かまぼこの平成26年の企業物価は対前年比1.8%（25年は▲1.0%）とわずかに上昇、一方、消費者物価は2.8%（25年は▲1.1%）とわずかに上昇。月別推移についてみると、平成23年の夏以降、企業物価に対して消費者物価の低下幅が大きくなっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成19年以降、概ね連動しており、相関がみられる。

図4-16 **かまぼこ** の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-8 **かまぼこ** の企業物価・消費者物価の推移

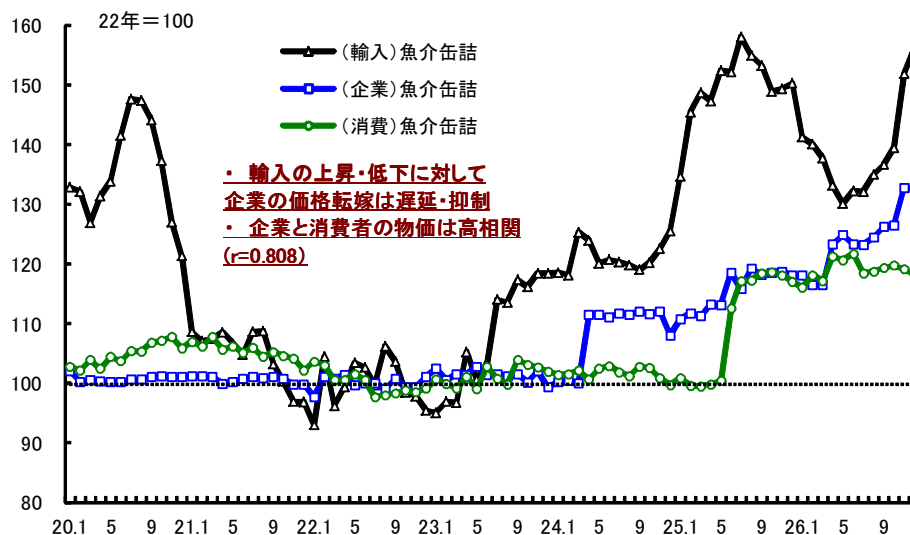
	企業物価 かまぼこ	消費者物価 かまぼこ
指数 22年=100		
20年	94.8	97.0
21年	102.3	103.1
22年	100.0	100.0
23年	99.6	96.5
24年	99.0	94.4
25年	98.1	93.4
26年	99.8	96.0
前年増減率 %		
21年	8.0	6.3
22年	▲ 2.3	▲ 3.0
23年	▲ 0.4	▲ 3.5
24年	▲ 0.5	▲ 2.2
25年	▲ 1.0	▲ 1.1
26年	1.8	2.8

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

魚介缶詰の平成26年度の企業物価は対前年比7.3%（25年は6.6%）とかなりの程度上昇、一方、消費者物価は8.3%（25年は8.2%）とかなりの程度上昇。月別推移についてみると、消費者物価は企業物価の上昇に遅れて25年夏に上昇し、以降概ね横ばいで推移している。

なお、企業物価と消費者物価は平成19年以降、高い相関がみられる。

図4-17 魚介缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-9 魚介缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 魚介缶詰	企業物価 魚介缶詰	消費者物価 魚介缶詰
指数 22年=100			
20年	135.3	100.8	104.8
21年	104.8	100.6	105.3
22年	100.0	100.0	100.0
23年	108.0	101.3	101.2
24年	121.2	108.5	101.6
25年	149.6	115.6	109.9
26年	138.8	124.0	119.0
前年増減率 %			
21年	▲ 22.5	▲ 0.1	0.5
22年	▲ 4.6	▲ 0.6	▲ 5.0
23年	8.0	1.3	1.2
24年	12.2	7.1	0.4
25年	23.5	6.6	8.2
26年	▲ 7.2	7.3	8.3

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(3) 農産加工品

野菜（生鮮・冷蔵）の平成26年の輸入量は、対前年比で4.8%（25年は▲9.0%）とやや増加、輸入単価は同▲6.5%（25年は18.9%）とかなりの程度低下。

野菜缶・びん詰類等の平成26年の輸入量は、対前年比で▲4.7%（25年は▲1.4%）とやや減少、輸入単価は同7.8%（25年は21.4%）とかなりの程度上昇。

図4-18 **野菜（生鮮・冷蔵）**の輸入量と輸入単価の推移

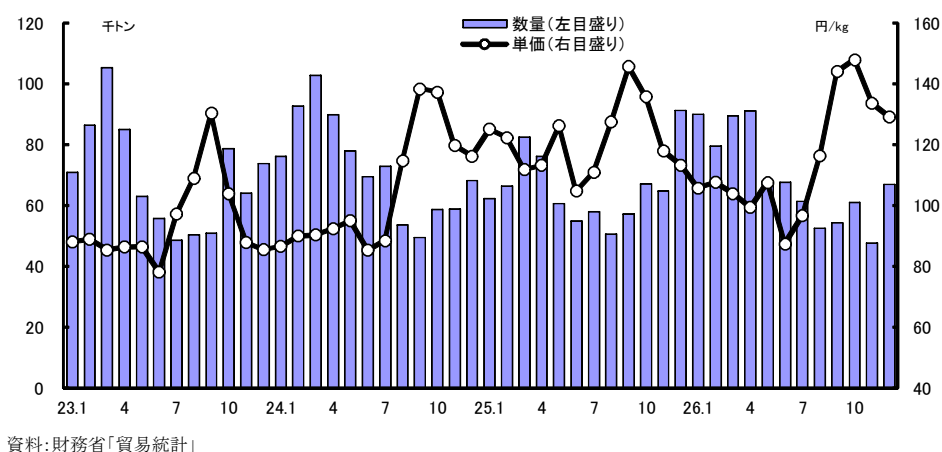
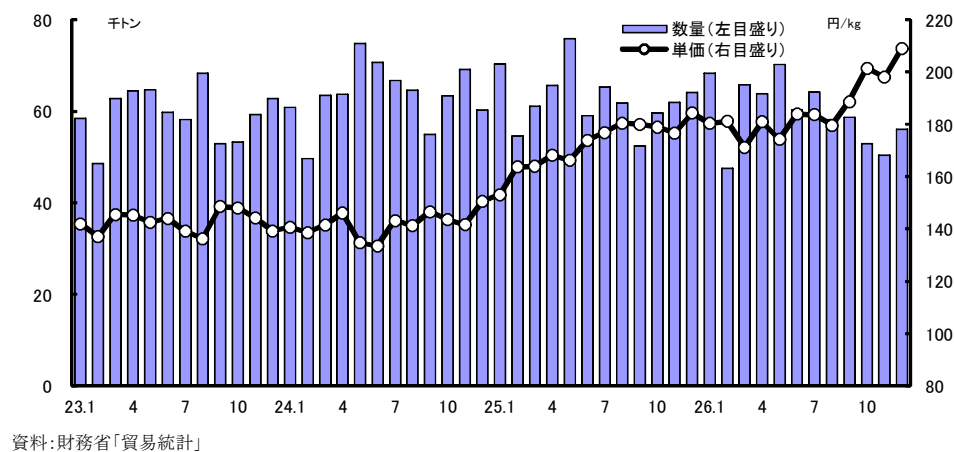


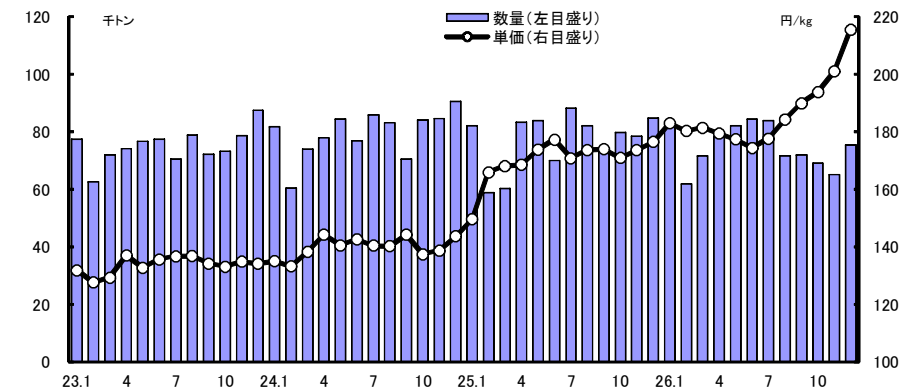
図4-19 **野菜缶・びん詰類等**の輸入量と輸入単価の推移



冷凍野菜の平成26年の輸入量は、対前年比で▲2.9%（25年は▲3.0%）とわずかに減少、輸入単価は同9.3%（25年は21.6%）とかなりの程度上昇。

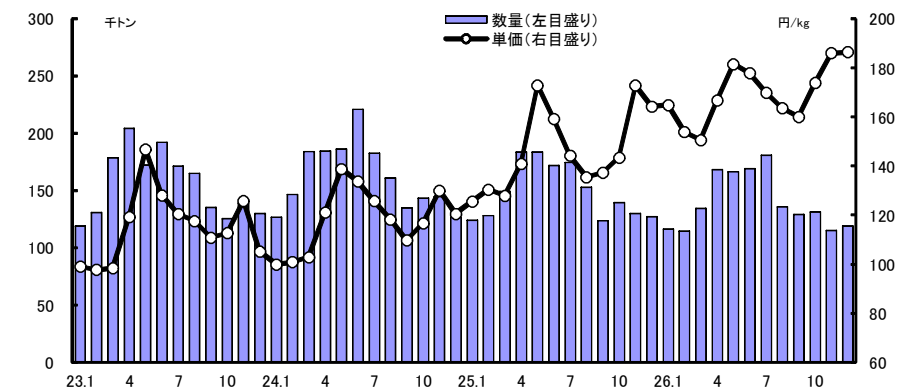
果実（生鮮・乾燥）の平成26年の輸入量は、対前年比で▲6.0%（25年は▲8.0%）とかなりの程度減少、輸入単価は同15.7%（25年は23.1%）とかなり大きく上昇。

図4-20 **冷凍野菜**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

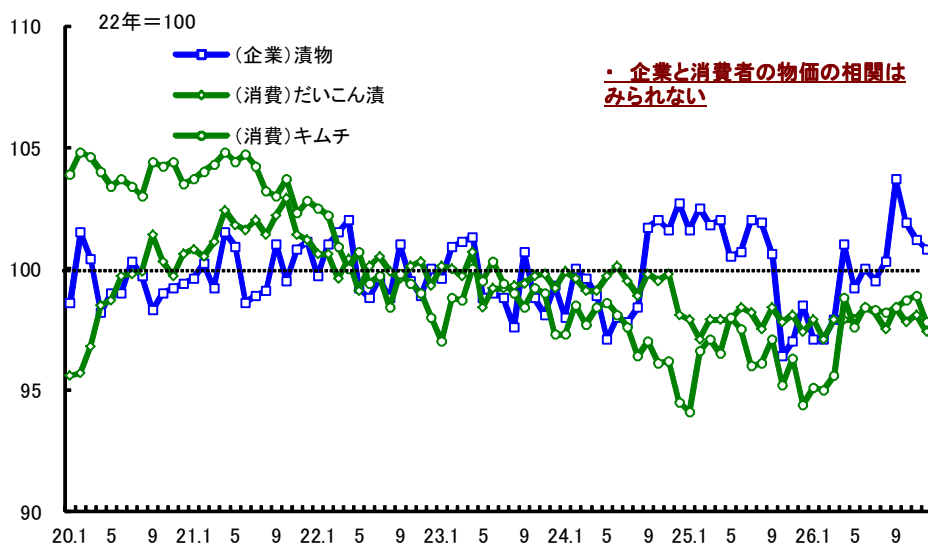
図4-21 **果実（生鮮・乾燥）**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

漬物の平成26年の企業物価は対前年比▲0.5%（25年は0.8%）と前年並み、一方、だいこん漬の消費者物価は同1.1%（25年は▲1.5%）とわずかに上昇、はくさい漬は同3.3%（25年は▲1.2%）とやや上昇。

図4-22 漬物の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

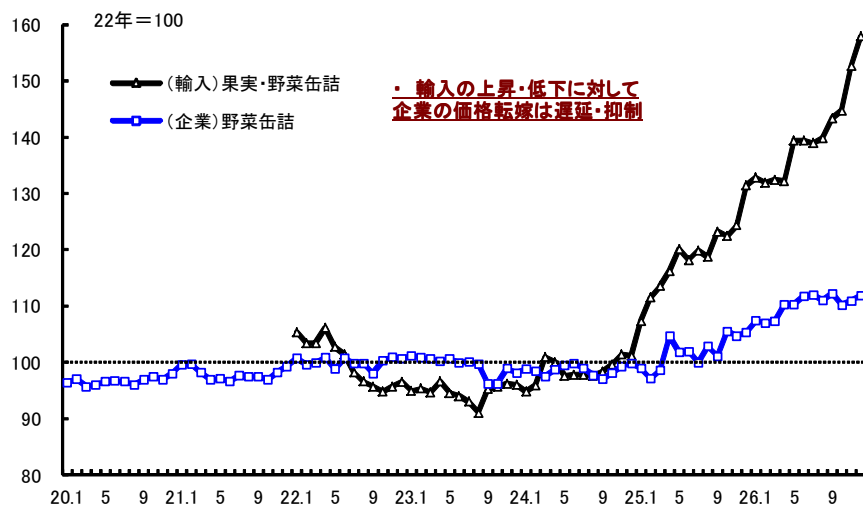
表4-10 漬物の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 漬物	消費者物価 だいこん漬	消費者物価 はくさい漬
指数 22年=100			
20年	99.4	98.9	102.3
21年	100.0	101.6	102.5
22年	100.0	100.0	100.0
23年	99.5	99.6	99.9
24年	99.7	99.4	100.1
25年	100.5	97.9	98.9
26年	100.0	99.0	102.2
前年増減率 %			
21年	0.7	2.7	0.2
22年	▲0.0	▲1.6	▲2.4
23年	▲0.5	▲0.4	▲0.1
24年	0.2	▲0.2	0.2
25年	0.8	▲1.5	▲1.2
26年	▲0.5	1.1	3.3

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

野菜缶詰の平成26年の輸入物価（果実・野菜缶詰）は対前年比18.1%（25年は20.6%）と大幅に上昇、一方、企業物価は同8.2%（25年は3.3%）とかなりの程度上昇。月別推移についてみると、輸入物価は著しく上昇しているのに対し、企業物価は緩やかに上昇している。

図4-23 **野菜缶詰**の輸入物価・企業物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-11 **野菜缶詰**の輸入物価・企業物価の推移

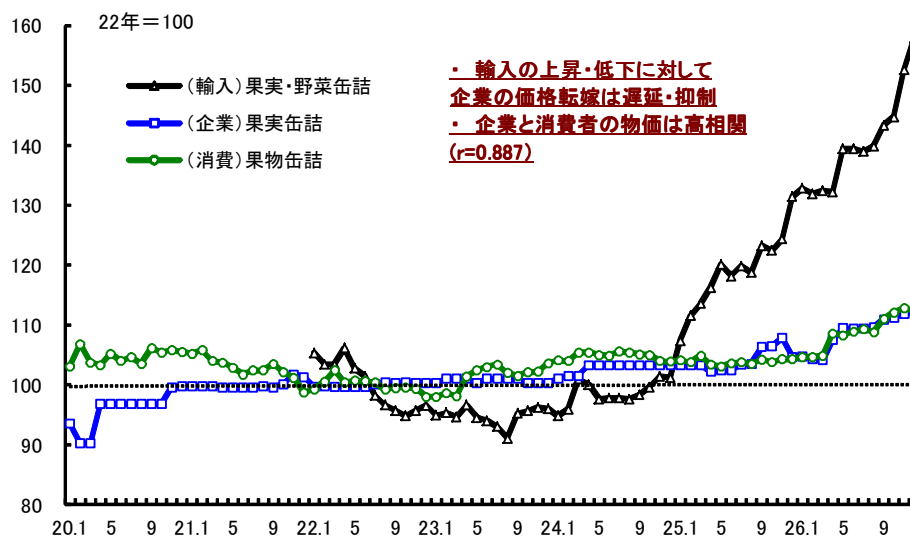
	輸入物価 果実・野菜缶詰	企業物価 野菜缶詰
指数 22年=100		
20年		96.7
21年		97.9
22年	100.0	100.0
23年	94.7	99.4
24年	98.6	98.6
25年	118.9	101.8
26年	140.4	110.2
前年増減率 %		
21年		1.3
22年		2.1
23年	▲ 5.2	▲ 0.6
24年	4.0	▲ 0.8
25年	20.6	3.3
26年	18.1	8.2

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

果実缶詰の平成26年の企業物価は対前年比4.5%（25年は1.2%）とやや上昇し、消費者物価も同4.8%（25年は▲0.9%）とやや上昇。

なお、企業物価と消費者物価は平成19年以降、高い相関がみられる。

図4-24 果実缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-12 果実缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 果実・野菜缶詰	企業物価 果実缶詰	消費者物価 果実缶詰
指数 22年=100			
20年		95.9	104.8
21年		100.0	102.8
22年	100.0	100.0	100.0
23年	94.7	100.7	101.4
24年	98.6	102.8	104.8
25年	118.9	104.1	103.9
26年	140.4	108.7	108.9
前年増減率 %			
21年		4.3	▲ 1.9
22年		▲ 0.0	▲ 2.7
23年	▲ 5.2	0.7	1.4
24年	4.0	2.1	3.4
25年	20.6	1.2	▲ 0.9
26年	18.1	4.5	4.8

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」